



第73回市身連福祉大会開会式（松井市長祝辞）

7月12日（日）、広島市総合福祉センター15階ホールにおいて、市身連加盟団体の代表者など一四〇名を超える参加者が一堂に会し、「第73回広島市身体障害者福祉大会」を盛大に開催しました。

第73回広島市身体障害者福祉大会



第133号

発行者
公益社団法人
広島市身体障害者
福祉団体連合会

第一部の式典の部では、市身連の蔵本副会長の開会の言葉、国歌斉唱、物故者への黙祷、向井会長の挨拶のあと、次の6名の方に更生援護功勞者市身連会長表彰が贈られました。

- ・蔵本 則彦（ろうあ協会）
- ・野田 次郎（中区身障協）
- ・三木 豊（中区身障協）
- ・西本 英司（中区身障協）
- ・榎原 勲（安佐南区身障協）
- ・藤本 隆男（佐伯区身障協）

続いて、来賓として広島市長松井一實様及び広島市議会議長の八條範彦様、衆議院議員の石橋林太郎様から温かい祝辞をいただきました。また、岸田文雄様の秘書の岸田翔太郎様、平口洋様の奥様平口さとみ様に代理出席をいただくとともに、祝電を頂戴しました。

第二部は、市身連創立75周年を記念して、松井市長による「広島市のまちづくり」と題した特別講演を行っていただきました。広島市の都市



会長表彰を受けるろうあ協会蔵本会長

像である「国際平和文化都市」の実現に向けた取組や、持続可能なまちづくりを目指すための「200万人広島都市圏構想」などについて熱く語っていただきました。

第三部の議事の部では、議案として提出した大会宣言と要望事項である決議案を満場一致で採択しました。

大会スローガン、大会宣言及び決議は次のとおりです。

大会スローガン

- 1 みんなが共に支えあいともに生きる「共生社会」を実現しよう
- 2 市身連及び加盟団体組織体制の強化を図ろう

大会宣言

本日ここに、広島市の身体障害者の代表が一堂に会し、「第73回広島市身体障害者福祉大会」を盛大に開催できますことは、喜びに堪えません。

広島市身体障害者福祉団体連合会は、身体障害者の自立を促進し、社会参加と平等の基本理念に基づく福祉の推進を図り、社会の発展に寄与することを目的に昭和26年11月に発足し、今年で75周年という節目の年を迎えます。

これも平素からの行政や市民の皆さんをはじめとする関係者各位の温かいご支援とご理解のたまものと心から感謝申し上げる次第です。

平成18年（2006年）に国連総会で「障害者権利条約」が採択され20年を迎えます。国においても、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法や改正障害者差別解消法など障害者の社会参加と共生社会の実現を目的とする法律が施行され、障害者に関わる様々な施策が展開されていきます。

また、昨年11月の東京2025

デフリンピックや今年のミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会などで活躍する選手を通じて障害者への注目や理解も高まりを見せています。

私たちの活動は、こうした環境の変化に任せるだけでなく、私たち自身も「私たちのことを私たち抜きで決めないで」という理念を根幹に位置付け、私たちの活動や社会参画を制約する要因を取り除き地域で自立して生活できるように、また障害に関する理解や関心が深まり社会のバリアフリー化が一層進展するよう、権利主体として積極的に取り組んでいく必要があります。

当連合会は、どのような環境にあっても、障害の有無によって分け隔てることなく、人権及び平等の機会が保障される共生社会の実現のために、会員との強い連携のもと、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言します。

令和8年度決議(要望事項)

1 虐待の防止・差別の解消と理解・交流の促進に関する要望

- (1) 広島市手話言語条例の制定



第三部 議事の部

- (2) 手話言語条例の学習会開催、手話講座の実施

- (3) 広島市長の「全国手話言語市区長会」への入会

2 安全・安心な生活環境整備の推進に関する要望

◆外出しやすいまちづくり

- (1) スポーツ観戦や各種イベント等での情報アクセシビリティの基礎的環境の整備

- (2) 市営江波沖住宅の出入口口での鳩の糞対策

- (3) 広島電鉄の路面電車の踏切の改良

- (4) 広島電鉄の路面電車の低床化推進

- (5) 広島市障害者福祉バスの高速料金の減免等

- (6) 障害者に優しい「みんなのお店ひろしま」の拡大

◆防災・防犯等の対策と災害時支援対策の推進

- (1) 災害時要援護者避難支援事業における聴覚障害者に十分配慮した施策展開(アイ・ドラゴン4の活用)

- (2) きこえない人・きこえにくい人向け避難マニュアル、行政向けマニュアルの作成等

- (3) 災害時における迅速な安否確認体制

3 地域生活支援の充実に係る要望(福祉サービスの必要な量と質の確保)

- (1) 日常生活用具の基準額の増額
- (2) 日常生活用具の品目の適切な追加

- (3) 広島市議会や広島市長記者会見への音声認識システムの導入

広島市への「要望の会」開催

8月20日(木)、広島市総合福祉センターにおいて、先の福祉大会で決

議した要望事項及び来年度の障害福祉関係の予算措置を広島市に求める「要望の会」を開催しました。

広島市側からは、健康福祉局障害福祉部の升島部長、津賀山障害福祉課長、栗原主幹ほか担当職員、市身連からは、向井会長、中神副会長、蔵本副会長をはじめ、役員9名及び事務局が出席しました。

要望事項については、出席した役員から項目ごとに、要望事項の背景や具体的な事例を交えながら趣旨説明を行いました。

令和9年度予算措置については、向井会長が要望内容を説明し、その実現を市当局に求めました。



升島部長に要望書を手渡す向井会長

要望事項は福祉大会決議の内容で、予算措置要望は次のとおりです。

《令和9年度予算措置要望事項》

一 身体障害者の自立と社会参加を推進する市身連及び構成団体の活動費の確保にご高配をいただきました。

二 市身連に委託されている「身体障害者社会参加促進事業費」及び「社会参加推進センター設置運営等事業費」については、現状以上の規模の予算を措置していただきたい。

市身連身体障害者

ボウリング大会

5月30日(土)に、ミスズボウルで、市身連主催の「第27回広島市身体障害者ボウリング大会」を選手25名のほか、役員や手話通訳、介助者、事務局などの参加のもと、にぎやかに開催しました。

市身連体育部会の上土井部会長の開会あいさつ、競技上の諸注意の説明のあと、競技がスタートしました。1ゲーム200点を超えるスコアをたたき出すハイレベルな内容で、

この大会の成績を基に、9月18日に福岡市で開かれた政令指定都市親善スポーツ大会への出場選手選考が行われました(後掲)。

第71回日本身体障害者福祉大会 せんだい大会

6月17日(水)、日本身体障害者団体連合会の令和8年度第1回定時評議員会が仙台市宮城野区の「仙台サンプラザホテル」で開かれ向井会長が出席しました。令和7年度の決算審査、役員交代、社会福祉充実計画の期間延長申請等に関する議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

その後の意見交換会では、都道府県・市町村組織の活性化をテーマに事例発表、意見交換が行われました。翌18日(木)に、第71回日本身体障害者福祉大会せんだい大会が、「仙台サンプラザホール」にて開催され、広島市からの10名の参加者を含め七、二人の参加がありました。

歓迎アトラクションでは、仙台育英学園高等学校のパワフルな書道パフォーマンスが披露されました。日身連会長であり、仙台市障害者



仙台育英学園高校書道部の歓迎アトラクション

福祉協会会長でもある阿部会長の挨拶に続き、仙台市の郡市長、仙台市議会野田議長^のの歓迎の挨拶や、来賓から祝辞がありました。

また、日身連会長表彰が行われ、当日の参加は叶いませんでしたが、市身連からは眞茅章氏^{まかやあきら}(安佐南区)が被表彰者に選ばれました。

続いて、「災害時はもとより、いかなる時も、いかなる地域においても、障害を理由に不利益を受けることがあつてはならない。私たちは、『誰一人取り残さない』社会の実現に向け、歩みを止めることなく前進を続けよう。ここに集う私たちは、互いにつながり合い、障害者権利条

約の精神である『私たちのことを私たち抜きで決めないで』を胸に、強い連携のもと誰もが安全に安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指して行動することを、ここに宣言する。』という大会宣言と、「連携の輪を広げ地域から組織の力を高めていこう」、「声をつなぎ地域の障害福祉を前進させよう」、「障害理解を広げ、地域で安心して暮らせる共生社会をつくろう」という大会決議を採択しました。



開会式で挨拶される仙台市 郡(こおり) 市長

また、第2部では、東北大学副学長の今村文彦氏^{いむらふみひこ}による「地域共生社会と防災を考える―東日本大震災での経験と教訓―」と題した貴重な講

演を拝聴しました。
大会終了後、笹かま工場、青葉城址、少し足を延ばして蔵王の御釜の視察を行いました。



青葉城址伊達政宗公騎馬像前での集合写真

来年は、6月3日(木)に「えひめ伊予大会」が愛媛県松山市で開催されることとなっており、愛媛県身体障害者団体連合会の河内修二会長から参加を呼び掛ける挨拶がありました。

第67回政令指定都市 身体障害者福祉団体連絡協議会 並びに親善スポーツ大会

9月17日(木)に福岡市で、第67回政令指定都市身体障害者福祉団体連

絡協議会が、また翌18日(金)には、親善スポーツ大会が開催されました。

開会式で福岡市身体障害者福祉協会の明治博会長、政令指定都市障害者福祉団体連絡協議会の浅香会長のあいさつ、福岡市障害者部林部長から祝辞がありました。

その後、政令指定都市の各障害者団体から提出された48の議題及び情報交換項目が、障害別の6部会に付託され、各部会において熱心に討議が行われました。

本市からの提案は次3つの議題で、全て採択され、日身連に提出することとなりました。

・駐車禁止除外指定車標章の交付対



第67回政令指定都市連絡協議会 (全体会議)

象を上肢障害者2級まで拡大すること「肢体障害者部会」

・来年4月の見直しに向け、物価上昇等を考慮した補装具の基準額の設定「視覚障害者部会」

・人工内耳・補聴器の助成の拡充の地域格差の是正「難聴障害者部会」
交流会では、障害別・地域別の席に分かれ、参加者同士が交流・親睦を深めました。

舞台では博多仁和加というお面をつけて博多弁で落ちのある短い話を次々と繰り出すお笑い芸能が披露され、大いに場を盛り上げていました。

二日目は、親善スポーツ大会(ボウリング大会)が博多駅からもほど近い「パピオボウル」で開催されました。

広島市からは、Aチーム(胡子正博・折手良司・三島六方・佐藤浩美・宇山祥代選手)、Bチーム(後藤盛勝・今岡達也・滝川佳延・新納義弘・滝川みゆき選手)の10名が出場、参加9チーム中、Aチーム3位、Bチーム5位という成績でした。優勝は神戸市Aチーム、準優勝は福岡市Aチームでしたが、実に僅差で上位入賞を逃した悔しい結果でした。

来年度は静岡市で9月7日(火)に

開催される予定ですが、会場の都合でボウリング大会は見送られることとなりました。



3位入賞を果たした選手たち

第25回全国障害者スポーツ 大会広島市代表選手団決定

第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ2026」が『翔ける未来へ縄文の風に乗って』をキャッチフレーズに、10月23日(金)から26日(月)の4日間、青森県で開催されます。

広島市選手団は、当連合会の向井会長を団長として、個人競技23名が参加されます。

選手の皆さんは、練習の成果を十

分に発揮され、目標とする記録・順位を目指すとともに、しっかりと楽しんできてほしいと思います。

(以下敬称略)

〔団長〕 広島市障害者スポーツ協会

会長(市身連会長)

向井 助三

〔陸上〕

菊一 晶

濱田 幹太

市川 純成

佐々木 愛来

岩原 圭一

中谷 有希

宇山 祥代

片寄 一

新久 清

伴 奈保実

古満 渉

小川 智司

小川 智司

小川 智司

小川 智司

小川 智司

小川 智司

小川 智司

小川 智司

小川 智司

各身障協だより

◆広島市視覚障害者福祉協会

9月26日(土)～27日(日)、第72回



研修大会原爆死没者慰霊碑への献花

全国視覚障害青年研修大会(広島市大会)が、全国各地から約一〇〇名の参加とユーチューブによる参加を得て市総合福祉センター5階ホールにおいて開催されました。

26日は開会式の後、被爆電車に乗って平和公園に向かい、原爆死没者慰霊碑献花、原爆ドーム・平和記念資料館の見学などの研修会を実施しました。

27日は、講演会、大会式典・議事を行いました。

講演会は、(株)シユアルタ(視覚障害者向けシステム開発を手掛ける会社)代表取締役西本卓也氏と元広島テレビアナウンサーで比治山大学現

代文化学部教授の児玉勝司氏による

「視覚障害者による情報発信とリテラシー」(生成AI等の新しいツールを用いた、私たち視覚障害者による情報発信の可能性と今後の課題を)と題した対談形式で、具体的な事例を取り上げて分かりやすく説明・解説していただき、大変勉強になるものでした。

続いて、式典・議事の部では、広島市視覚協中神誠理事長、同青年職業部長の白井利明氏の歓迎の挨拶、日視連の竹下義樹会長、同青年協の鈴木祐花会長の挨拶、広島市長(代理・森川副市長)、市身連向井会長、広島市社協の中田事務局長の来賓挨拶がありました。

また、熊本県視覚障害者福祉協会の米村総一郎氏から代表者会議の報告、岩手県視覚障害者協会の日野沢ひなわ氏による講演会の報告、地元若手視覚障害者の岡啓史氏による大会宣言の朗読、広島市視覚協青年職業部副部長の高松豊氏による大会決議案の朗読、最後に広島市視覚協青年職業部の山中真澄氏による閉会宣言で全ての日程を終了。2日間にわたり活発で有意義な青年研修会の幕を閉じました。



第72回全国視覚障害青年研修大会式典の部

◆広島市肢体障害者福祉協会

令和8年度市肢体協の福祉大会を8月22日(土)に、会員約30名の参加者のもと、市心身障害者福祉センターにて開催しました。

また社会保険労務士事務所の特定社労士である牟田邦夫氏を講師に、「障害年金について」という演題で講演いただきました。

障害年金の申請手続きや障害年金の等級認定の仕方などを詳しく説明していただき、改めて障害年金制度の重要性を認識しました。

牟田氏は、「制度の言葉と生活の現実を一本の線でつなぐ」ことで必

要な人が請求への道筋を見つけられるように支援を続けておられると締めくくられました。

◆広島市中途失聴・難聴者協会

当協会主催で広島市の支援を受けて、今年度も「広島市登録要約筆者・奉仕員ステップアップ研修会」が今年12月まで、月1回のペースで4回に分けて開催されます。

ステップアップ研修会是要約筆者・奉仕員のさらなるスキルアップを目指す趣旨で行われるものです。

9月6日の第1回では、広島市南区地域福祉センターにおいて、講師に全国要約筆記問題研究会岡山支部の田島陽一郎氏たじま しょういちろうをお招きし、「要約筆記のスキルアップ・スキルアップするために必要なこと」を演題に、4時間にわたる講義、実習が行われました。田島講師の「いかに要約筆記のスキルを上げるか」の熱弁があり、参加者からは「大切なヒントをいただいた」、「今までとは違う視点での研修で面白かった」などの意見がありました。

◆広島市ろうあ協会

9月23日は、国連の手話言語国際



手話の日イベント（紙屋町シャレオ）

デーと「手話施策推進法」が定める『手話の日』です。

この関連イベントとして、広島市ろうあ協会は、広島聴覚障害者協会主催の「手話の日イベント」を広島県手話サークル連絡協議会、NPO法人広島県手話通訳問題研究会とともに、紙屋町地下街シャレオ「紙屋町ベース」で開催しました。

簡単な手話の紹介、聴覚障害者とのコミュニケーションの仕方、災害時の対応・必要な支援などについての講演や手話での絵本の読み聞かせなどを、午後1時から1時間おきに4回の催しを行いました。

毎回30人を超える来場者があり、

通路にまであふれる程の人だかりができていました。

また、夕方からは、エディオンピースウイング広島、本通り商店街、エールエールヒロシマにおいて、シンボルカラーの青い光で施設を照らし出す「ブルーライトアップ」が行われました。

こうした取組により、「手話は言語である」ことへの理解を深め、きこえない人と聞こえる人が一つになる社会の創出につながるようこれからも努力していきます。

◆東区身体障害者福祉協会

6月25日(木)、第41回東区身障協会の定期総会を広島市中心身障害者福祉センターで開催しました。会員総数は前年度の12名から、今年度は転入者があり微増となりましたが、活発な活動ができる状態とは言えません。

そこで、組織の拡充策として、今年度から「仕掛けづくり」をしてみました。それは、「ボッチャ」。体育館で行う競技で、白いジャックボールを的に、2組3人の6人で球を転がして、いかにジャックボールに近づけるかを競うものです。

慣れないながらも、みんな初めての競技に夢中になっていました。

コートがバドミントンコート程度もあり、スポーツを体験した気持ちになりました。

次回も計画したいと思っており、東区のみならずにはご案内致しますので、是非ご参加ください。

◆安佐北区身体障害者福祉協会 連合会

福祉バスを利用したバスツアーをほぼ毎月実施しています。

9月2日(水)には、呉市「大和ミュージアム」と入船山記念館に行きました。こういった施設を見学するのも、日本の歴史を振り返ることにつながり、争いの絶えない世界の情勢や国政に対して、身近な日常生活において、いかに取り組んでいくか考える機会になるかもしれません。

2月には、「平和大学（文化研修会）」を実施します。今後は、安佐北区役所と連携をとりつつ、来年2月に向け、防災をテーマとした内容にしようとして平和大学を企画中です。このように私たちは、人と人との交流を深めていきながら、地域社会

の一員であると自覚が持てるような社会を目指して活動していきます。

お知らせ

◆市身連「文化研修会」

障害者の文化教養の向上を図り、自立と社会参加促進を目的として開催する「文化研修会」を実施します。今回は、見てびっくり・聞いてびっくり、ちくわや野菜をくり抜いて見事な音楽を奏でる伝承民謡研究家・唄い手の住宅正人氏に講演をお願いしています。

障害者の方はどなたでもご参加いただけます。

- ・日時 令和8年11月22日(日)
午後2時～午後3時30分
(受付：午後1時30分)
- ・場所 広島市総合福祉センター
5階ホールA・B・C
- ・講師 住宅正人氏(桃太郎からくり博物館館長・ちくわ笛奏者)
- ・演題 岡山と広島について(桃太郎と金太郎～音楽で巡る瀬戸内の旅)



住宅正人氏

・定員 150名(参加料 無料)
※手話通訳・要約筆記あります。

- ・申込期限 11月9日(月)
- ・申込方法 氏名・電話番号、FAX番号、障害名等を記入し、FAX、電子メール又は郵送により市身連事務局へ提出してください。

◆心身障害者福祉センター『文化祭』

12月3日～9日は、障害者週間です。障害への理解と障害のある方と社会や文化活動への参加意欲を高めたいと、障害者週間期間中の日曜日に心身障害者福祉センター『文化祭』が行われます。「みんなの笑顔 つながる心」をテーマに、陶芸・絵画・写真・書などセンターを利用する皆さんが日頃の活動成果を発表する作品展示、車いすダンス、合唱・楽器演奏、各種



昨年の「カープ選手との集い」でのスライリー

演舞などのステージ発表をはじめ、体験コーナー(点字、手話)等があります。その他、バザーや模擬店・ゲームコーナー、クイズラリーとお楽しみ抽選会もあります。今年、特別出演として、崇徳中学高等学校グリークラブによるコーラスと恒例のカープ選手との集い(仮)を予定しています。皆さんのお越しを心からお待ちしています。

- ・日時 12月6日(日)
午前10時～午後4時
- ・場所 広島市心身障害者福祉センター
- ・参加費 無料

・問合先

広島市心身障害者福祉センター
2026文化祭実行委員会(東区
光町2-1-5)

TEL(082)261-2333

FAX(082)261-7789

※無料送迎バス・会場と広島駅北口
を往復運行予定

◆市身連グラウンドゴルフ大会

前回の会報で10月31日(土)に開催すると御案内していたグラウンドゴルフ大会は、会場の都合で11月21日(土)午前10時に変更します。

会場に変更はありません。西部埋立第五公園です。

◆第22回マーガレットコンサート(障害者と広響とのジョイントコンサート)

このコンサートは、プロの交響楽団と障害者が同じステージに立って演奏するというユニークなもので、広響さんの協力のもと、22回という長きにわたって開催される全国にもあまり例のない催しです。

多くの皆様にご来場いただき、出演する障害者に温かいご声援をいただければと思います。

また、障害のある方に配慮した対応を考えていますので、障害の有無にかかわらず多くの皆様のご来場を心から期待しています。

チケット販売は12月中旬の予定ですが、詳細については、まだ決まっていないことが多いのでお知らせできません。現時点で決まっている日程等についてご案内いたします。

・開催日時

令和9年3月14日(日)

・場所 広島国際会議場フェニックスホール

※手話・要約筆記つき

・入場料

【前売指定】 S席 2,500円

A席大人2,000円

小人1,000円

【当日指定】 S席 3,000円

A席大人2,500円

小人1,000円

・主催 広島市(主管・広島ふれあい委員会)

※お問い合わせは市身連まで

◆バリアフリー映画特集

広島市映像文化ライブラリー(エールエールひろしま10階)では、障害者週間に合せ、12月1日(火)～15

日(火)の期間中(7日及び11日～14日は除く)に、聴覚障害者向けの日本語字幕、視覚障害者向けの音声ガイドを伴ったバリアフリー上映会が行われます。上映作品は、

・目の見えない白鳥さん、アートを

見に行く

・きこえなかったあの日

・へんしんっ！

・知りたいあなたのこと 視覚障がい者の生活・気持ち

・知りたいあなたのこと3 きこえない人の生活・気持ち

各作品の詳細や上映日時等については、11月初旬に映像文化ライブラリーの公式サイトに掲載されます。

次のQRコードからアクセスしてご確認ください。

鑑賞料

大人380円、シニア(65歳以上)・高校生180円、小中学生・障害者及びその介助者は無料

問い合わせ

TEL(082)298-0551

<https://hiroshima-eizoubunka.jp/>



映像文化ライブラリー公式サイト

◆インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2026

障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2026」が広島市をメイン会場として11月28日(土)～29日(日)に開催されます。

広島県パラスポーツ協会が主催で、市内5会場と隣接市町の5会場で22競技のパラスポーツを体験できるイベントです(下表のとおり)。

カープOBの天谷宗一郎氏やサンフレッチェ広島OBの森崎浩司氏などのサポーターやゲストアスリートも参加するほか、企業・団体によるブース出展も行われます。

次のQRコードから応募して参加してください。

インクルーシブスポーツフェスタ

www.akaihane.or.jp

赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

赤い羽根共同募金



インクルーシブスポーツフェスタ



赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

会 場	競 技
マエダハウジング 東区スポーツセンター	開会式 車いすバスケットボール(エキシビジョンマッチ及び体験会)、モルック、フライングディスク、ギソクの図書館、アーチェリー、ヤングアスリートプログラム、障がい者アダプテッド・スポーツ、車いすバドミントン、ジャベリックスロー、パラクライミング、ボッチャ
ひろしんビッグウェーブ	パラスケート、車いすカーリング
県立総合体育館 小アリーナ	車いすテニス、ドローンサッカー、ウォーキングフットボール、電動車いすサッカー・フレームフットボール、デフサッカー、アンプティサッカー
観音マリーナ	ハンザヨット
中央公園緑地～本川	ユニバーサルサップ

発行者 公益社団法人 広島市身体障害者福祉団体連合会	会長 向井 助三
編集者 情報宣伝部会	部長 上野 玲子
電話 (082) 263-4524	FAX (082) 263-9713
ホームページ http://shishiren.com/	